

小松地域未来塾（小松中学校）【西条市】

～小松を担う子どもたちの未来のために～

◆活動の目的・理念

- 学習意欲や自己肯定感の向上を目指す。
- 故郷への愛着心や高揚を図る。
- 学習習慣の定着や学力の定着を図る。

活動場所	小松公民館	対象児童・生徒	小学6年生・中学生	対象学校 区名	小松小学校、石根小学校、 小松中学校
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	日		:	～
	土・日・休業日等	2	日	冬季休業中の月～金	9 : 00 ~ 16 : 00
児童・生徒の 平均参加人数	23	人/日	学習支援員	4	人/日 教員OB、塾講師
協働活動サポ- ターのべ人数	人		ボランティア 延べ人数	人	
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の育成、 学習相談への対応			参加者募集	各学校を通じてチラシを配布し、希望者 を登録

取組の概要

<主な取組内容>

- 宿題にじっくり取り組む
冬休みの宿題を中心に取り組む。
解りづらいところを講師に納得いくまで教えてもらう。
- 学校や家庭との連携
学校を通じて実施内容と参加申込書の配布・回収。
- 地域や家庭への広報
公民館だよりに小松地域未来塾(小松中学校)の
開催状況を掲載。



児童・生徒の感想

- ・15分勉強して5分休憩する勉強は集中できて良かった。
- ・15分だと勉強時間が短く感じて勉強がはかどった。
- ・分からないところを丁寧に教えてもらえてよかった。
- ・休憩時間に長縄跳びなどをしてリフレッシュできた。
- ・みんなとスノードームやプラバンを作れて楽しかった。
- ・昼ご飯のうどんとみかんが美味しかった。



<特色ある取組>

- 学び:「インターバル学習法」をみんなでやってみよう!
インターバル学習法とは、勉強(15分)+休憩(5分)=1セットを繰り返すことで効率よく勉強が
はかどる勉強方法。
教員OBの先生や地域の方々、地域の小学6年生と一緒に楽しんで学ぶ。
- 協働:小松婦人会による昼食(うどん)の提供
おやじ部によるプラバンの制作指導
地域の方々と支援員の協力によるスノードームの制作、長縄跳びによる交流

事業を実施して

【成果】

- 意欲的に学習した生徒は、理解が深まり、学習の
成果が上がった。
- 学校やPTA、団体などと連携した活動内容になり、
地域で支えていることが実感できた。
- 次年度中学に入学する小学6年生にとっても中学生
と共に勉強する事ができて良い刺激になった。
- 子どもたちから感謝の念が芽生えた。

【課題】

- アンケートを実施し、中学生の希望を把握する
必要がある。
- 部活の大会などを考慮し、中学生が参加しや
すい時期(夏休み)の実施が望ましい。
- 大学生等の指導員の確保が課題。
- 男子生徒の参加が少なく、増員手法が課題。